

風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部
第5回防災活動に関する意見交換会

ごあいさつ

先日、現代アート集団「チームラボ」代表の猪子寿之氏がテレビのインタビュー番組で、「感動は実体験・体感しないと（机上の学習だけでは）発生が難しい」との主旨の言葉を述べられていました。趣（おもむき）は多少異なりますが、災害時対応も同様です。

実際に大きな災害を体験された方は、二度と辛い思いはしたくないとの思いから備えを進めようとしてます。私たち柏市民は幸いにして、あるいは不幸にしてそうした大規模災害をこの柏市内で経験していないことで、そうした備えが市行政や避難所である各学校施設管理者においては十分でないとの実状がございます。それを補うのは、やはりここに暮らす市民一人ひとりの意識向上に頼らざるを得ないものと考えます。

これまで私どもが取り組んで参りました防災全般の活動は、そうした趣旨を基本に進めているものであり、それを受け止めて頂く地域団体の方々の意識や反応如何では、災害時に命を守る大事な一歩となり、あるいは、残りの人生をあきらめざるを得ないこととの分水嶺になるのです。

今年度の台風シーズンも間もなく終わる様相で、大きな災害が襲ってこなかったのは今のところ幸いです。しかし、これから冬場には南岸低気圧の接近に伴う寒波襲来での降雪など、引き続き荒天には最大の警戒をお願いします。

本日の会議だけでなく、今後に予定します、①災害時に大怪我をしないための検討とその結果集約、②沼南近隣センターにより地域一斉防災訓練実施の11月6日に予定します安否確認訓練結果の無線機による交信訓練（本日はその実施の案内と希望団体には予行演習を兼ねた模擬更新を予定）、③来月26日の災害時の避難行動を学ぶ講習会へも、皆さまの積極的なご参加を何卒お願い申し上げます。

令和4年10月22日
風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部長 古山博之